



## 年長児からのありがとう ～いつも見守ってくれているおうちの方へ～



2月20日にうぐいす組、2月21日にかめ組が、保護者の方へ感謝の思いを伝える「ありがとうの会」を行いました。卒園を前にこれまでの園生活を振り返り、自分たちが大きくなったのは支えてくれる保護者や身近な人のおかげだということに気づき、どうしたらありがとうの気持ちが伝わるかをクラスで話し合うところからスタートしました。自分達の成長した姿を見てもらいたい、プレゼントをしたいなどいろいろな意見が出て、クラスごとに計画を立てていきました。

グループに分かれての縄跳び、竹馬、ハンドベル、合奏などでは、見せたかった「自分達の成長した姿」というのが、「できなかったことができるようになること」、「難しいことでもあきらめずに挑戦すること」、「友達と気持ちを合わせてひとつのことに取り組むこと」だということが保護者の皆様に伝わったのではないかと思います。そして、子ども達同士の「頑張れ、できるよ」「〇〇ちゃんならできる」という声にも成長を感じたのではないのでしょうか。友達の頑張る姿を見てきたからこそその応援ですね。

卒園していく子どもたちが、これからも自分を支えてくれる方への感謝をもち、のびのびと、そして一途にチャレンジできる子どもたちでいてほしいと思います。



## お世話になった皆様へのありがとう



1年間、ふるさとホームの利用者様、収穫体験をさせていただいた地域の方小中学校の皆さんなど、たくさんの方にお世話になりました。お礼の気持ちを込めて、絵やことばで「ありがとう」の気持ちを伝えるメッセージカードを作りました。手作り絵本を貸してくれた中学校3年生には「卒業おめでとう」の言葉も添えて、中学の卒業式前日に届けに行きました。



## 友達やおうちの方とたくさん遊んで体力アップしました

神奈川県健康・体力づくり実践研究校(園)として2年間、いろいろな取り組みをしてきましたが、中でも「親子で一緒に」という活動は北幼稚園の特色でもあります。「親子で遊ぼう」「の～すパパと遊ぼう」など、保護者の方に参加していただいたり、ご家庭でもできる親子遊びに取り組んでいただいたり、様々なご協力をいただき、ありがとうございました。親子で笑顔があふれる時間を過ごしたことは、子どもたちが大きくなって温かな記憶として残ってくれるのではないかと感じます。昨年9月に県の園小中の先生方へ取組を紹介したのですが、「こんな楽しい幼稚園に自分の子ども通わせたい。」「親子で楽しめるのは幼児期ならでは。保護者が楽しんでいる姿を見て子ども達も活動がさらに楽しく感じるのでは」などたくさんの素敵な感想をいただきました。

今年度、6月と2月に体力測定(MKS 幼児運動能力検査)を行いました。いろいろな活動の中で運動を楽しむ中で体力がついたことがわかります。これからも楽しみながらたくましい心と体を育てていきたいと思ひます。



### 年少 体力測定の結果

テニスボール投げ 2.9 ⇒ 3.5  
25メートル走 2.9 ⇒ 3.1  
(5段階評価 評定点3.0が全国平均)

### 年長 体力測定の結果

テニスボール投げ 3.4 ⇒ 3.7  
25メートル走 3.2 ⇒ 3.5  
(5段階評価 評定点3.0が全国平均)



**写真4** ケーキ取り 大人対子どもの対決



勝ってガッツポーズの大人チーム 子どものやる気に火がつきます



**写真5** 最後の「親子で遊ぼう」 親子で元気に体操



念願のドッジボール対決 歓声が響きました